



Since 1997

The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 15 | Issue 4 | June 2012

➡ In this issue...

- ▶ 離任にあたり - Mr Bruntonより...p. 2
- ▶ ファミリーデー...p. 3
- ▶ エレメンタリースクールニュース...p. 4
- ▶ セカンダリースクールニュース...p. 6
- ▶ Math Field Day...p. 9
- ▶ セカンダリーSRC...p. 9
- ▶ 図書室ニュース...p. 10
- ▶ World Education Games...p. 11
- ▶ イヤーブッククラブ...p. 12
- ▶ 今年度のスポーツ...p. 14
- ▶ 卒業生レポート...p. 16
- ▶ スクールコンサート...p. 18

“月を目がけて。うまくいかなくとも、瞬く星の数々が迎えてくれるであろう。”

—Les Brown

From the School Director

こんにちは！KISTファミリーの皆様にはお元気でお過ごしのことと思います。私は、年の最後に行われる様々なイベントと来年度の準備に追われ、忙しく毎日過ごしています。

6月8日、第7回目となるGrade12の卒業式が無事終わりました。

今年の卒業生の一人が、超難関校で知られる韓国のSeoul Universityに合格しました。一昨年のYonsei Universityに続き2校目の韓国の大学に生徒を送り出すこととなります。

KISTでは今年も、そして今までもアメリカやイギリス、カナダやオーストラリアの大学に多くの卒業生を送り出しています。また、ハンガリーの大学で医学を学んでいる卒業生や、香港のUniversity of Hong Kong、ベルギーのUniversity of Antwerpで学んでいる卒業生もいます。日本に置きましては、例年卒業生を送り出している早稲田大学やICUや上智大学以外にも、京都の立命館大学、九州の立命館アジア太平洋大学、そして明治学院大学に合格しました。卒業生の数が増すとともに、世界中の様々な大学にKIST卒業生の輪が広がっています。

学校は、将来大人になったときに必要な知識やスキルを身に付ける場所です。私は仕事柄、IB教育により豊富な知識や論理的思考力や応用力、コミュニケーション能力など素晴らしいスキルを身に付け、大学や社会で活躍している、KISTやそれ以外の学校のDP卒業生を沢山知っています。活躍している彼らは、DP卒業生の特性を良く表していて、これからの未来のリーダーとしての可能性を十分に秘めています。

IB一貫校としての当校の目的の一つは、生徒にDPで成功させることです。なぜなら、DP最終試験で高得点を取ることで、大学や実社会で求められる知識やスキルが十分に付いていることが、証明となるからです。実際にDPのHLサブジェクトにおいて7点中6か7の高得点者は、その能力を大学、実社会で高く評価され、アメリカ等の大学によっては単位を認定する場合もあるほどです。

生徒がDPで成功するためには、PYP、MYPとDPの効果的な連携システムが必要です。今年度KISTでは、DP最終試験を目指したK1から10年生までの数学と日本語Aのカリキュラムリンクマップを独自に作成し、ファミリーデーで皆様に原案をお示し致しました。来年度以降は、それを現状に照らし合わせ、問題点を把握し、授業を進めて参ります。また、これらの探求ベースのプログラムの学習を深めていくには、特にその道具として必要不可欠な、言語力と数学力のさらなる強化が求められています。今年度は、個別の学習到達度を測るため内部や外部のテストを増やし、その結果を基に必要な生徒には補習やアフタースクール、またサマースクールの充実を図りました。来年度以降も、学習の向上を目指し更なる改革を進めて行きたいと思っております。

エレメンタリースクールやセカンダリースクールを通して、未来を担う子供たちを成功に導くには、1) 本人の多大なる努力、2) 保護者の適切なサポート、3) 効果的な教育を学校が提供することが必要となります。

KISTは3番目の「効果的な教育を提供する」ことに、責任を持って務めてまいります。生徒の皆様は、1番目の「本人の努力」、保護者の皆様は、2番目の「保護者の適切なサポート」に対し、責任持ってつとめるよう、お願いいたします。

最後になりますが、今年度はKISTに取って大きな変革の年となりました。マネージメントチームの皆様やスタッフの皆様、そして保護者の皆様に心より感謝の気持ちを伝えたいと思います。

そして、7年間KISTで活躍されたエレメンタリー校長のMr グレゴリー・ブラントンに改めてお礼の言葉を述べたいと思います。長い間KISTに貢献して頂き誠にありがとうございました。今年のエレメンタリースクールの飛躍的向上は、Mr ブラントンなくては果たせませんでした。今後のご活躍と成功を心からお祈りします。

Yoshishige Komaki
School Director/Head of School

DATES TO REMEMBER



June

- 20 Peer student-led conferences
- 20 (K1-G10) Last day of school
- 22 (G11) Last day of school
- 25-Jul 13 LEAP summer academic program (1)
- 27 Semester 2 reports issued by post

July

- 16-27 Office closed
- 30-Aug 17 LEAP summer academic program (2)

August

- 16 (K1) Parent welcome night
- 20 (W) First day of school
- 29 (K2/K3/G1) Parent welcome night
- 30 (G2-G5) Parent welcome night
- 31 (G6-G12/EIC) Parent welcome night

September

- 7 (S) College information night
- 14 Student free day
- 14 *The Comet* issued
- 17 School closed (National holiday)
- 18 (S/EIC) Field Day
- 19 (E) Field Day
- 19 (G1-G12) Clubs program begins
- 20 (G5) Camp explanation evening
- 21 MYP New parent information night
- 22 High school drama festival
- 25 (W) Free dress day
- 26-28 (G8) Camp

離任にあたり - Mr Bruntonより

“ ダディが校長先生に
なれますように。
そうしたらなんにもしないで
ずうっと
座ってられるでしょう。
いつも本当にありがとう。
愛をこめて、
アレクシアより ”

(校長の職に応募した面接の朝、娘にもらった励ましのカードより)

「なにもしないでずうっと座っていられる」ことがないまま、KISTでスタートして7年、校長となりましてから3年の月日が経ちました。ここで過ごした日々には、成果、挫折を含めたくさんの出来事がありました。つらいこともありました。共に歩み、時には困難を乗り越えてることによって仲間とのつながりがより深く、強くなったと感じています。これらの経験があったからこそ今日のKISTがあり、当校の一員であることを誇りに思っています。

中でも今年度は、スクールコミュニティが一丸となってサポートしあう、私にとっていちばん心に残るものとなりました。よりよい学校づくりへ向けたそれぞれの努力が、来年度へも引き継がれ、皆様からのご支援とともによりすばらしいKISTコミュニティへとつながっていくことを願っています。本年エレメンタリースクールで取り組みました新たな試みとしては、言語および数学の当校における学習基準、年間カリキュラム、パソコンを含みましたIT機器の設置、教員向けの教材、生徒および教員を対象としたオンライン教材の充実、F&P読解考査の実施とレポートの提供、PATMaths数学考査の実施とレポートの提供、K1-G5における年4回のレポートカードの配布、クラスの図書拡充などがあげられます。

そして、これらはエレメンタリースクール全体のプロフェッショナルとしてのチームワークがあってこそ実現することができたものだと思います。改めて、このチームの一員であることを誇りに思います。教員として16年間、これまで勤めてきましたが、これほど熱心、そして思いやりのあるエレメンタリーチームに出会ったことはありません。それぞれの生徒や学年、また学校全体のことを考え、話し合う姿が日々みられ、またそれぞれに設けられた共同研究の時間によって、話し合われた内容が形となり、クラス等に反映されています。そういったアクションこそが子ども達にとってよりよい教育へとつながっています。今年度、よりよいカリキュラム、レポートづくりをリードしてくれましたMs Heard、そして翻訳やオフィスでのサポートをしてくださいましたMs Nomura には感謝しています。

また、エレメンタリースクールだけではなく、小牧ご夫妻をはじめ、Mr Rothkoph, Mr Coweそしてセカンダリースクールチーム、Mrs Naito, Mr Larsenをはじめとしたオフィスやバスドライバー、カフェの方々、PTA、ボランティア、保護者



の皆様、在校生と関係各位それぞれが歩みより、ご協力いただきましたからこそ達成できたことだと感じています。小さなひとつのステップ、決定でもスクールコミュニティは大きく変化します。皆様全体からのサポートなくしては、これらを成し遂げることはできなかったことでしょう。

KISTのこれからがとても楽しみです。しかし、子ども達が大学、社会へと巣立っていくように、私も教育者として、また生涯における学習者として新たな一歩にふみだす時を迎えています。当校でこのような機会をくださり、ご支援いただいた小牧夫妻には心から感謝申し上げます。お二人のもと学ばせていただいたことの数々、また私や家族を思ってくださいましたすべてのことに感謝の気持ちでいっぱいです。また、引き継ぎ等を行う中で、新年度より校長となりますMr Yoshiharaはエレメンタリースクールをよりよい方向へリードしてくれる存在であることを改めて確信しています。夏休み期間も連絡をとりながら、新学期、2012-2013年度のスタートへと準備を整えていく予定です。

最後になりましたが、よりよい学校へと動きつづけるチームの一員としてご一緒させていただいたKISTコミュニティの皆様おひとりおひとりに厚く御礼申し上げます。皆様とお会いできなくなってしまうのは本当に残念でなりません。ご活躍をお祈りいたしますとともに、私たちが東京に戻りました際には、皆様とまたお目にかかることができますことを楽しみにしています。

Greg Brunton
Elementary School Principal



Mr Brunton

LEAP 夏期学習プログラム 2012年6、7、8月

夏休みのご予定はお決まりでしょうか？ スキルをのばしたり、進学年度へ向けての準備をとお考えの方もいらっしゃるのではないのでしょうか？ そのような方に、LEAPでは夏の学習プログラムを用意しています。英語や数学を中心に、今年は次のようなコースが開催される予定です。

セッション 1: 6月25日(月) - 7月13日(金) [3週間]

1. 新K2-新G1 夏期学習プログラム
2. 新G2-新G5 夏期学習プログラム 英語コース
3. 新G2-新G5 夏期学習プログラム 算数コース
4. 新G6-新G9 夏期学習プログラム 集中英語コース
5. 新G6-新G9 夏期学習プログラム 集中数学コース
6. 新G10-新G12 夏期 DP数学集中基礎コース
7. 新G10-新G12 夏期 集中SATコース

セッション 2: 7月30日(月) - 8月10日(金) [2週間]

1. 新G10 夏期 集中DP数学準備コース
2. 新G11 夏期 集中DP数学準備コース
3. 新G12 夏期 集中DP数学コース

www.k-leap.jp

ファミリーデー

5月19日(土)に行われた年に一度のKIST Family Dayは今年も天候に恵まれました。Family Dayは、学校コミュニティ全体で行われる大きなイベントです。日本の運動会や体育祭を基にしたイベントで、競争ではなくリレー、球技などの楽しいゲームを通じて生徒、保護者、学校スタッフ間の交流、コミュニケーションの場を提供する事を目的としています。

体育館には、IT関連の問題、大学進学、サマースクール、Founders' Awards、PTA等のインフォメーションブースが設置されました。今年度でKISTを離れるスタッフに、生徒と保護者が別れのメッセージを書く事のできる、さよならボードも設置されました。また、多くのフード、ドリンクブースが参加者を元気づけてくれました。これらのブースの総売り上げは259,610円となり、かかった費用95,601円を差し引いた**164,009円**の利益は、エレメンタリーとセカンダリーで均等に分けられ、2012-2013年度の教材購入に充てられます。

今年のFamily Dayの企画、運営に携わってくれた皆様、ありがとうございました。アクティビティに参加していたみんなの笑顔から楽しい一日だったという事が伝わってきました。



エレメンタリースクールニュース

Playground 改修プロジェクト



教員、スタッフ、お母様、お父様方、生徒たちにもご協力いただき、Playground 改修プロジェクトも着々と進められています。遊具まわりの段差のありましたスペースにはプランターが配置され、ウッドデッキ、ベンチも7つ設置されました。従来からありましたプレイハウスにも手が加えられ、2つのハウスがまた新たに仲間入り

する予定です。コーナーに移動しました砂場もより大きなものになり、遊具の収納も設置されました。現在は、滑りにくいゴムマットや防水スモックを備えた水遊びのスペース、また新たなウッドデッキを設置する作業などを行っています。KISTivalを通して、そしてご寄付、作業など様々な形でご支援、ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

Elementary クラブ活動

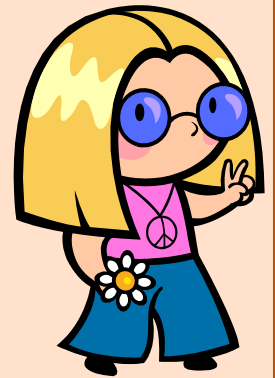
Elementary では今年度、スポーツ、学習、レクリエーションなど幅広いクラブ活動が展開されました。スポーツの分野でのクロスカントリー、ウォーキングクラブ、リラクゼーションストレッチをはじめ、学習活動として、朗読クラブ、英語で歌おうなどの新たなクラブ、そして金曜日のHomework Club は、たくさんの子も達がSecondary School の生徒から学習のサポートを得る機会となりました。また、今年度はニットクラブ、フランス語、スペイン語、デジタルアニメーション、イヤープッククラブなどのユニークなものも新しく設けられました。来年度のクラブ活動にもどうぞご期待ください。



それぞれの兵器とともに改修に挑む
Brunton's Angels

Free dress day 集計

3月24日、今年度最後となりましたfree dress day にも多くの参加がありました。集まりました金額は合計¥76,850 となり、K1-G1 クラスの教材の購入にあてられます。本、算数の教材、学習に関連したゲームを中心に購入させていただきます。ご協力、ありがとうございます。ありがとうございました。



フランス語クラブのクレープづくり



デジタルアニメーションクラブの活動

PYPニュース

Grade 5 PYP exhibition

5月18日にGrade 5の生徒によるExhibition、Sharing the Planetが行われました。資源をいかにシェアするかはコミュニティやそれぞれの関係に影響を与えるのではないかと、central ideaに基づいた課題の発表を行いました。

Exhibitionは、Primary Years Programmeのまとめとして、Grade 5の生徒が取り組む活動となっており、PYPの5つの基本要素、コンセプト(概念)、知識、態度、行動、スキルのつながりを学ぶ機会ともなっています。子ども達は共同の探究活動として実際の課題について調べ、考えることを通して、協力してcentral ideaを発展させたり、探究の方針や視点を設定したり、コンセプト(概念)を選び、リサーチをしたり、活動の展開を計画したりといった探究活動が展開されるうえでの全ての過程、側面を経験することになります。

またExhibitionへ向けての過程においては、指導教員(mentor)とのミーティングもとても重要な役割を果たしています。生徒には、それぞれが定期的に担当のmentorと進行状況や学習を進めていくうえでの気づき、今後の計画などを話し合ったり、確認する機会が設けられています。また子ども達の進行状況はそれぞれによってMoodleページに掲載され、最終的にはビジュアルプレゼンテーション、インフォメーションレポート、アートやパフォーマンスとしての発表、オーラルプレゼンテーションなど様々な形での発表となりました。当日は、保護者の方、当校の教員や生徒、またほかのインターナショナルスクール2校からの訪問もあり、たくさんの方にここまで学習してきたことをみていただき、伝えることができました。Exhibitionを終え、Grade 5の子ども達には最後まで成し遂げることができたことへの自信がみられます。

Grade 5クラスに拍手を送ります。

ESRC エレメンタリー生徒会

エレメンタリー生徒会(ESRC)は積極的に今年度の活動に取り組みました。エレメンタリースクールの意見を反映し、様々な問題の解決策を考えたり、新しい取り組みも行いました。

休み時間に子ども達が安全に階段を利用できるようモニター当番を立てたり、free dress dayを計画し、図書室の書籍を購入したり、休み時間の校庭でのルールをたてたりといった活動を展開しました。

最近では、morning recessにて子ども達をとりまとめ、ゲームを実施しています。休み時間なにもできずにいる友だちやみなが安全に遊べるためにはどうしたらいいのかを考えた末、はじまった取り組みです。週3日、セッティングからゲームの中心としての役割を担っており、たくさん子ども達が楽しんでいます。今年度、時間や努力を惜しまずエレメンタリースクールのことを考えてくれたESRCの生徒達に感謝の気持ちでいっぱいです。

Elizabeth Heard
PYP Coordinator



セカンダリースクールニュース

今年度学校では前進的な変化がたくさんありました。変化をしていく際、コミュニティの皆様のサポートが必要不可欠です。生徒、保護者、理事会、オフィススタッフ、PTA、マネジメントチーム、セカンダリースタッフの皆様の信頼とサポートに感謝し、セカンダリー校長一年目である今年が私にとって思い出深い一年となったことをお伝えしたいと思います。

6月の初めに毎年行われている学校の伝統行事、スクールコンサート“KIST on Stage”が行われました。学校で見られるポジティブな雰囲気がそのまま出ていたのではないのでしょうか。これは、非常に多くの生徒が積極的に演奏したがっている様子からも伺えました。様々な音楽、劇、コメディが演じられ、国際性の豊かさを感じ取る事が出来ました。教育者から見て、このような場で年上の生徒と年下の生徒が一緒になってパフォーマンスをするというのはとても良い事だと感じました。クラスでの授業だけでは学べない経験は、生徒が成長していく上でとても有益な物となります。生徒がクリエイティブに表現をする場所と、生徒中心のパフォーマンスをコミュニティ全体に披露する機会を与えるのはこの学校の特徴の一つであり、アートへの関心、スキル、そして自信を育む事が出来ます。

今年度は多くの変化がありました。DP Book Exchangeを試験的にを行い、卒業していく12年生達が来年からDPを始める10年生に教科書売る機会を設けました。これにより、家

族の負担を少し減らす事と教科書のリサイクルを行う事が出来ました。MYPでも似たような事を6月20日に試験的に行います。

来年度も、引き続き各学年で修学旅行を行います。これらの修学旅行はカリキュラムの一環として組み込まれており、毎年より良いものにしていきます。このページ下記にあるスケジュールの通り、学年によって違う場所に行く事となります。

各学年の生徒に意義のある経験をしてもらうために、あえて違う場所を選びましたが、コストは各ご家庭の負担が大きくなりすぎないように考えられています。詳細は、それぞれの日程の約4週間前に送られます。

G10-12では、生徒とラップトップの比率が1対1になります。過去2年間で学校はITの設備投資を行い、学校内ではクラスでテクノロジーを用いた授業を行うのに必要なスピードを保ちつつ、完全にワイヤレスへの移行をしました。G10から生徒が自分のラップトップを持ち必要なIT知識を身に付けるのはDP進学、卒業、大学進学後のためにもとても有益なものとなります。21世紀の学習環境を提供すると共に、高校卒業前に責任を持ったケアの仕方を学んでいただくのが学校の目標です。従って、G10-12の生徒には、適切な保護ケースに入れて各自のラップトップを学校に持ってくるよ



セカンダリーコンサートでステージ上にいる生徒

うお願いします。どのようなラップトップが推奨されているかは、Live@eduのEメールで、各ご家庭に送られました。ご質問等ございましたら、直接ITオフィスまでご連絡下さい。

学校は新しいITシステムについての説明会を、英語、日本語の両方で今年度の初めに行いました。来年度は、PowerSchoolについて同様の説明会を行う事を予定しております。PowerSchoolを使う事によって、生徒と保護者が日々の出欠や成績を毎日いつでも、インターネット経由で見ることができます。生徒がユニットを完了した時、大きな課題を完成させた時等に、PowerSchoolの先生の成績表経由で成果を見る事ができるようになります。こうする事により、生徒と保護者が学習状況について話し合う機会を設け、学校が発行する正式な中間、学期末レポートだけに頼らず常に学習状況を把握できる事を願っております。

充実した夏休みを楽しんで下さい。8月にお会いできるのを楽しみにしています。

敬具

Stephen Rothkopf
Secondary School
Principal



Mr Rothkopf

Secondary School Grade Level Excursions in 2012-2013

Grade	Location	Dates
G6	Nikko, Tochigi Prefecture	October 3-5, 2012
G8	Chichibu, Saitama Prefecture	September 26-28, 2012
G10	Niigata Prefecture	March 6-8, 2013

MYPニュース

MYPの新たな章の始まり

パンタレイ！全ての物はとどまる事なく移り変わるという意味である、有名なヘラクレスの言葉は学年度の締めくくりにぴったりなのではないでしょうか。今年度多くの事が改善されました。たくさんの新しい先生と生徒が入り、来年度からのMYPの変更点についての発表もありました。

現在IBは、生徒がIBを学んでいくにあたりより良い成功を収められる構成にするため、MYP全体の見直しに取り掛かっています。この新しいMYPへの正式な移行は2014年の秋からとなっており、画期的で、コンセプトに基づいており、IBの原則が反映された11-16歳の生徒にとって適切なプログラムとなります。

全ての教科は見直されており、現在議論が交わされている内容は：

- 多分野にまたがるキーコンセプト
- DPIにより即した教科ごとのコンセプト
- 相互作用のエリアを国際的なコンテキストに置き換える
- 国際的なコンテキストに関連するキーコンセプトに焦点を当てた探究のユニット
- 学び方の学習(ATL)により重きを置き、IB学習者像に必要な能力を発達させる
- MYPの4年目と5年目の教科選択

これらの変更はまだIBによって正式に認可されたわけではなく、2012-2013年度に世界中の限られた学校で試験的に適用される事となっております。KISTでは、Art部門が新しいガイドを試す学校に選ばれました。これにより、正式な変更前に新しいArt教科の内容を知る事が出来ます。

しかし、認可されている変更点もあり、これらは来年度から適用される事となります。Humanitiesの評価基準は既に名前が変更されており最高点が現在の10点から8点に変わります。一番大きな変更は日本語と英語のLanguage Bです。これまでのLanguage Bは、Foundation, Standard,

Advancedの三つに分かれていましたが、6つのフェイズに分かれる事となります。このフェイズは連続性のある語学の勉強を表します。学校は生徒に以下のような環境を提供しなければなりません。

- Language B(もしくは二つ目のLanguage A)を全てのMYPの学年で学べる環境、
- MYPで学んでいる間同じ言語のLanguage Bを毎学年続けて学ぶ環境。他の言語を学ぶためにはフェイズ4で良い成績を収める必要があります。

生徒の行った課題を見て、どこのフェイズにもっとも適しているかを先生が判断します。フェイズは年齢やMYP学年で分かれるわけではありません。

全ての変更点とKISTでのMYPの詳細は、2012年9月と12月に予定されているMYP保護者説明会で説明が行われます。

皆様、たのしい休暇をお過ごしください。

Vedrana Pavletic
MYP Coordinator

Acknowledgements:

IBO MYP Coordinator's Notes, May 2012
IBO MYP Language B Guide, March 2012
IBO MYP Humanities Guide, February 2012



バックパックスの寄付

G8AのKoyuki, Harukaよりバックパック回収プロジェクトにご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。集まりましたバックパックは、災害時の非常用バックとして、低所得のため公営住宅で生活されている14のご家庭に送られ、とても喜ばれました。この経験から、東京都内にも食料など日々の生活面において大変苦勞をされながら、一人で幼いお子さんを育てている親御さんがたくさんいらっしゃるなど多くのことを学びました。このような活動には近隣の教会などを通じて参加することができます。どんなに小さなことでも、人々の生活にとっては意味があり、どこかへとつながっていくのではないのでしょうか。寄付を通して、子ども達に笑顔を、そして母親に安らぎを与え、私達もあたたかい気持ちになることができましたと思っています。私達自身もいつどのような状況におかれるかわからないのです。そのような時、人々のために私達は活動しています。



コミュニティを助けているKoyukiとHaruka

DPニュース

11年生:EEが形になる!

前回のニュースレター発刊以降も、11年生はDPカリキュラムの一環としてExtended Essayを続けています。

5月24日は最初のドラフトの提出日でした。今回は1500-2000字の草案を書き、研究課題について今まで調べた事を論証し、論文を形作らなければなりません。スーパーバイザーの先生方がこれらの草案を読み、夏休みに入る前に生徒にフィードバックを与えました。

11年生の保護者の皆様はMoodleでEEについて知る事により生徒のサポートをすることができます。Moodle上にあるThe DP Extended Essayというページには、保護者の皆様が生徒のEEをサポートする時に必要なリソースがあります。お子さんにEEの第一ドラフトについて聞いたり、見せてもらったりしても良いのではないのでしょうか。

大事な事:

生徒は夏休み期間中EEに取り組んでいるべきです。リソース集め、リサーチを行い、学校初日の8月20(月)が提出期限となっているフルドラフトに集中して取り組むのに最適な時です。この期限を守る事が出来なかった生徒は、12年生初日の授業に参加する事が出来なくなります。EEのフルドラフトについてのインストラクションもMoodleにあります。

Mark Cowe
EE Coordinator

Ferdinand Licuanan
Teacher Librarian

11年生TOK: "ways of knowing"をまとめる!

金曜日の最終ブロックは、TOKコースを続けている11年生達にとっては忙しい時間となっています。前回の記事以降、11年生はTOKエッセイに取り組んでおり、Ways of Knowingについての理解を書く機会が与えられています。MPRIにて全クラス合同で行ったワークショップと発表や、各クラスに分かれて担当の先生からの授業も受けました。最近Scienceを知識のエリアとして勉強しています。



11年生のTOK/EE授業の様子



Moodle上にあるG11 TOKのページにTOKの授業を行う時に先生方が使っている全てのリソースがあります。ご興味のある保護者の皆様は、学校ウェブサイトからDPコース詳細にあるTOKのページをご覧ください。もしくはお子さんに行ったアクティビティやTOKジャーナルについて聞いてみて下さい。また第2セメスターのTOKの成績の元となり、今まで彼らが取り組んできた学校の勉強の中でも特に難しい大事な課題であるTOKエッセイを見せてもらうのも良いかと思えます。

Mark Cowe
TOK Coordinator

Andrew Young
Jun Hishiyama
G11 TOK Teachers

12年生:DP評価最新情報

5月に12年生はIB Diplomaの最終試験を終えました。ほかの学年が皆ゴールデンウィークを楽しんでいる期間中も12年生はMPRで試験を行い、その後は、テストを行うにあたって必要な施設を確保するために森下文化センターで行いました。



IB最終試験を受けている12年生

学校にとっても、生徒にとっても試験をスムーズに行う事ができました。KISTのオフィススタッフ、先生方にとっても感謝しています。昨年までと同様DPの結果詳細は9月発刊のThe Cometでお知らせいたします。

Mark Cowe
IB DP Coordinator



Math Field Day

4月18日(水)にKISTから28名の生徒が、横田米空軍基地内にある横田ハイスクールで行われたMath Field Dayに参加しました。参加した7-12年生の生徒達は一月半前からこの競技の準備を始め、ランチタイムにミーティングをし、練習問題の答え確認や問題解きの方法などを話し合いました。

KPASSP主催のMath Field Dayには東京周辺にあるインターナショナルスクールの生徒が参加しました。午前の部では、速算、Junior部門、Intermediate部門、Senior/Calculus部門に分かれて個別に問題を解き、昼食後には他の学校の生徒と混ざりチームを作り、Math Maniaという、先に4つの問題を正しく解く競技で競い合いました。

最終的には、G8Bの**Jiaying**がIntermediate部門で2位に、G11Bの**Samkit**がSenior部門で2位になりました。学校を代表し参加した生徒のみんな、そして特にSamkitとJiayingの二人、おめでとう！

Jenny Thomas
Team Coach

Junが速算している様子



KISTの生徒がチームの回答をチェックしてもらいに走っています



他校の生徒と一緒に問題を解いている様子



たくさんのインターナショナルスクールが参加しました

セカンダリーSRC

SRC Executive for 2012-2013

SRC役員を決める投票が5月31日に行われました。全ての候補者は正式な手順を経て立候補し、Mr Fishman、Ms PavleticとMr Rothkopfとスピーチの練習をして当日に備えました。

スタッフと生徒一同、候補者たちの熱意、キャンペーンの質に驚かされました。各ホームルームを回り、生徒と話し、質問に答え、キャンペーンポスターを作り公約を明確にしていきました。そして候補者たちはセカンダリー生徒全体にとっても上手なスピーチを行いました。SRC集会は今年度の特筆すべきイベントだったのではないのでしょうか。先生方や学校スタッフもスピーチの出来に感心していました。生徒達には先生からのガイドラインとサポートがありましたが、全ての候補者に積極性が見られました。

SRC Executive for 2012-2013



President Monica (G11C) Vice President Miri (G11B) Secretary Kouta (G9A) Treasurer Min (G10A)

9月には、各ホームルームで学級委員を決める事となります。SRCでの仕事は勉強にもとても重要な、協調性、目標を立てる、整理整頓、責任感、そして公共の場で話す、等の能力を伸ばす手助けになります。SRCには、規約を完成させて学校のマネジメントチームに提出するという大きな仕事があります。今年のSRCから出た良いアイデア等を土台にして、新しいSRCが規約作りを前に進めて行きます。規約が正式に認められた後にセカンダリーブログに掲載されます。全ての候補者達におめでとう！と伝えたいと思います。

図書室ニュース

KIST 図書室の近況



4月には、さくらメダルの取り組みがありました。エレメンタリースクール、Grade 2-5の生徒がさくらメダルの受賞にふさわしい作品を選び、意欲的に投票に参加したり、セカンダリースクールの生徒にも世界各国からの新しい文学にふれ、それぞれが気に入った作品に一票を入れる姿などがみられました。

さくらメダルでは、International School Librarians of Japanによって選ばれた作品のなかから、インターナショナルスクールの生徒の投票によって受賞作が決定されます。候補作は、過去2年間に発表されたものが対象となり、内容のみならず、様々な国や視点が反映されるよう選ばれています。

日本全国の子供達によって選ばれましたさくらメダルの受賞作は次の通りです。

部門	作品	作者
絵本 英語	The Interrupting Chicken	David Ezra Stein
絵本 日本語	こもりくん	山西ゲンイチ
児童書 英語	Out of My Mind	Sharon M. Draper
児童書 日本語	さらば、シッコザウルス	服部千春
中学生向け 英語	Blood Ninja	Nick Lake
中学生向け 日本語	秘密のスイーツ	はやしまりこ
高校生向け 英語	Boys Don't Cry	Malory Blackman
高校生向け 日本語	お父さんとオジさん	伊集院静

当校の生徒はまた、国内のほかのインターナショナルスクールとともに、さくらメダル日本語作品紹介コンペティションに参加し、**Kouta** (G9A)の作品が高校部門でシルバーワードに選ばれました。内容はこちらでござんいただけます：

<http://youtube/MrDwneUyXEA>

読書に取り組み、評価し、投票に参加してくれました子ども達、そして生徒を励まし、支えてくださったご家族や教職員の皆様、ありがとうございました。来年度、2013年のさくらメダル候補作も決定次第、LMCそしてエレメンタリー図書室にてご紹介させていただきます。どうぞご期待ください。

また、さくらメダルに参加しました生徒には、PTAより図書カードをいただきました。投票しました子ども達全員を対象に抽選を行い、当選しました生徒には¥2,000分をプレゼントさせていただきました。図書とのかかわりをより深めていただけたらと思います。



当選しました生徒達です：

エレメンタリー: Miku (G2B), Miwa (G2B), Kishore (G2A), Tom (G5A), Meng Ting (G5B)

セカンダリー: Emi (G7A), Emily (G7A), Jamie (G9A), Ria (G9A), Youn Jae (G12)



年度末が近づくと、図書スタッフは返却作業におわれ、子ども達をはじめ利用者全員に借し出し図書は期限までに返却していただくよう、そして紛失してしまった図書や教材につきましてはご負担いただくようご案内させていただいています。なにかございましたら図書スタッフまでご連絡ください。



最後になりましたが、図書スタッフ一同より、1年間様々な形で支えていただきましたPTA Library Committeeには心より感謝申し上げます。スクールコミュニティ皆様からのサポートがありましてこそ、KIST図書室の設備、内容、サービスの充実を実現することができています。

夏休み期間中は、両図書室の蔵書点検、KISTivalの売り上げによって購入させていただいた新しい図書の登録、新年度の情報教育プログラムの計画などを行います。来年度もHungry Readersといった新たな取り組み、またご好評いただいたD.E.A.R., Sakura Medal 2013, International Mother Language Dayなどのイベントなどを通して皆様とまたお目にかかることができるのを楽しみにしています。

ゆったりと、読書を楽しみながら、すてきな夏休みをお過ごしください。

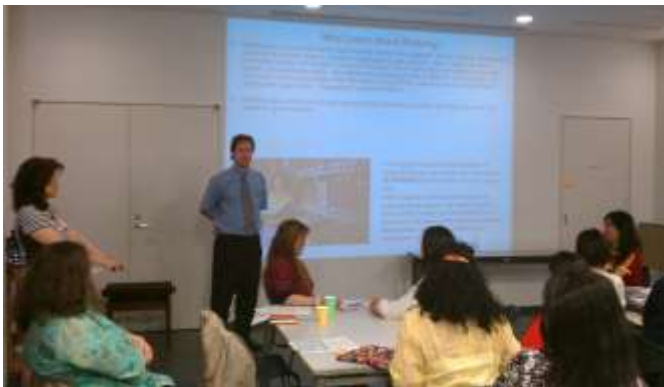
KIST 図書スタッフ

カウンセラーを囲んで...

6月7日、PTAによるスクールカウンセラー、Benjamin Fishman を中心とした保護者向けのワークショップが開催されました。いじめについてをテーマに、15名の保護者の方にご出席いただきました。いじめをとりまく複雑な課題や問題点、保護者としての対応の仕方、またいじめはどう防ぐことができるのか、などといった点について話し合いが行われました。

内容の詳細は次の通りです:

- ◆ いじめについてお子さんとの話し合い方
- ◆ 友だち関係についてお子さんとの話し合い方
- ◆ お子さんが、まわりの子ども達とよりよい関係づくりをしていくために保護者にできること
- ◆ いじめのターゲットになっているお子さん、またはいじめにかかわっているお子さんによるサイン
- ◆ いじめにかかわっているお子さんへの対応
- ◆ いじめにあってしまったお子さんへのサポート
- ◆ いじめに遭遇してしまったお子さんが積極的にアクションをおこしていくための支援
- ◆ いじめの防いでいくための学校との連携、お子さんのサポート



PTAでは、来年度もMr Fishmanを囲んでのワークショップを予定しています。詳細等、決まりましたらまたご案内させていただきます。

校内美化活動

4月6日より5月26日まで5回にわたり、校内美化活動が行われました。ボランティアとして集まってくれました生徒、保護者、スタッフで校内の壁のペイント作業を行いました。金曜日の放課後に準備を行い、作業には土曜日があてられました。

お忙しい中もご参加いただき、よりよい学校環境づくりにご協力いただきました方々には心より感謝申し上げます。スクールコミュニティの皆様、今後とも校内環境の維持、向上にご協力お願いいたします。

ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。



World Education Games

3月5日、6日、7日、エレメンタリースクールの子供も達はWorld Education Gamesに参加しました。世界各国より157万を越える生徒がスペリング、理科、算数のゲームに挑戦しました。

KIST よりは2クラス、Grade 1A とGrade 5Bがトップ50にランクインしました。Grade 1A クラスはスペリングにおいて34位、Grade 5B クラスは理科において16位、スペリングにおいて28位、算数において30位でした。おめでとう!

また参加しました生徒全員に証書が送られました。Grade 5B クラス記念のイベントを行いました。当校の生徒皆に拍手を送りたいと思います。

Kevin Yoshihara

Grade 4A担任

Elementary Mathematics Coordinator



Grade 5Bクラス、おめでとう!

朝の登校について-お願い

教員との面談を予定されている場合などを除き、**登校時間は原則として8:00よりとなっております。**校庭等でのスーパージョンも8:00よりとなっておりますので、ご確認ください。年度も終盤に近づくにつれ、朝7:30ごろより学校にこられるお子さんがみられるようになりました。

新学期までに8:00以降の登校となりますよう今一度各ご家庭でご自宅の出発時間の見直しをお願いいたします。また、早めにお越しになりましたお子さんにつきましては、学校より連絡させていただきますので、あらかじめご了承ください。



イヤーブッククラブ

クラブをふり返って



今年が私にとって初めての、イヤーブッククラブとK. International Schoolでした。生徒として写真や、イヤーブック作成を通して学校を知れるという事は運が良いと感じています。最初の Semester で Mr Ito は Microsoft Publisher の機能と写真について教えてくれました。この期間中に写真の技術を覚え、好きになりました。第1 Semester の半ばも過ぎた頃からイヤーブックのページ作成に取り掛かりました。

クラブのメンバー達は、学校関係のイベントがあった場合、個人の自由時間を使いイヤーブックのために写真を撮りに行きました。撮った写真の中からページに乗せる写真を選ぶのはとても楽しかったです。作成のサイクルは、写真を撮り SkyDrive に載せ、ページを作り、Mr Ito に見せ、直し、また Mr Ito に見せるというものでした。

第2 Semester に入り、各ホームルームがそれぞれのページを作る事となりました。人数の少なかったクラブに急に笑い声と活気があふれてとてもエキサイティングでした。クラスの個性を出す事が出来てとても楽しかったです。

今年のイヤーブックには、今までにないくらいの活気があります。イヤーブックの全てが生徒のために生徒の手によって作られており、生徒の視点から学校を捉え、形にする事が出来ました。このクラブは、今までとは全く違う形で学校へのありがたみを教えてくれました。学校のイヤーブック作成に携わられた事を光栄に感じます。また来年もこのクラブに入れたら入りたいと思います。

Minami (G9A)



初めて印刷されたページを見ているクラブ



カラフルなページデザインを見せているMinamiとTamami

今年が私にとって、KISTでの最初の1年でした。写真と学校を代表してページ作りを行う事に興味があったためイヤーブッククラブに入りました。このクラブの主な仕事は写真を撮影し、クリエイティブにページに載せる事でした。簡単に聞こえるかもしれませんが私達の能力のベストを出すために、たくさんの従わなければならないルールがあり、手順を踏んでページを作り、改善していかなければなりませんでした。

今年度を通して私は3ページ作成しました。2つのキャンプと1つのクラスページです。最初は自分の作ったページについて周りの人々がどう思うかを気にしていましたが、すぐに慣れ、学校にとって意味のある物を作るという責任を持つ事に面白味を感じ始めました。イヤーブッククラブでは新しい変わった事を学ばせてくれました。ページ作りに必要なスキルとルールを学び、ページを自分たちの思った形に仕上げするために Microsoft Publisher のツールの使い方学びました。

今年がこのクラブ最初の年でした。昨年度までは生徒の代わりに、先生の手によってイヤーブックが作られていました。このクラブを始めるのはとても良い考えだと思いました。イヤーブックにより組織性が生まれ、生徒が作る事によって生徒が将来に持っていきたい記憶でページが満たされるようになりました。

Mr Ito の監督の下、クラブとしてページ作りに一生懸命励み、学校が誇りを持てる物が出来たと思います。このクラブでの時間はとても楽しく、また来年も入りたいと思います。この仕事を通して学校を違った視点から見る事が出来、入ったばかりのころと学校の印象が変わりました。私達が楽しんだのと同じくらい、みなさんがイヤーブックを楽しんでくれる事を願っています。

Tamami (G9A)

Staff 10!

今回のStaff 10!では2009年よりセカンダリースクールの理科を担当しておりますAndrew Youngをご紹介します。現在は、理科科目のコーディネーターをつとめています。



独自の科学の理論を検証するMr Young

● ご出身地について面白いことを教えてください。

そこで生まれたわけありませんが、クライストチャーチを“第二の”故郷とよんでいます。ニュージーランドに帰国するとまずはじめにクライストチャーチに向かいます。クライストチャーチでは、2010年9月4日以降、10,355回を超える地震が観測されています。マグニチュード7.1から5.6の大きな規模のものも25回記録されています。最近では、地震活動も落ち着いてきており、街の再建がはじまっているようです。

● 世界で一番好きな場所はどこですか？

ひとつはとても難しいのですが、好きな場所はたくさんあります。

ニュージーランド パイオニアハット、マウントクック国立公園

オーストラリア アラプリーズ山、ナティマック

タイ ライレイ半島、クラビ

ギリシャ カリムノス

トルコ パムッカレ、ヒエラポリス

イタリア ローマ

冬の八ヶ岳(長野)などです。

● チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。

チャールス・ダーウィンです。人類の歴史の中で、生命について私達が理解するためにひとりの人間が残してくれたものとしてダーウィンに勝るものはないと思っています。今もご健在の方でお会いしてみたいのはリチャード・ドーキンズです。

● 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？

以前は日常的に登山を楽しんでいました。腰を痛めていることもあり、現在は活動を休止していますが、また挑戦してみたいと思っています。

● ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。

はじめての仕事が高校時代にしていた「チキン キャッチャー」という事です。どのような仕事であったのかは皆さんのご想像にお任せします。

● あなたにとって一番の宝物は？

母から21歳の誕生日にもらった緑の石の彫刻です。ニュージーランドではPounamuと呼ばれています。母がデザインし、マオリ族の彫刻の匠に作ってもらったものです。ライフサイクル、成長や発展、永遠、知恵をあらわすPikoと呼ばれるデザインです。

● ご自分を言葉で表現すると？

少々おかしな変わり者ではありますが、ちゃんとしたgentlemanです。

● もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？

年齢や経験を重ねてはじめて、若かりし頃の失敗に気づき、どんなに未熟であったか、またまわりがみえぬままいかにエネルギーをもてあましていたかなどに気づくものです。今の私が同じ状況におかれるとしたら、今の年齢なりの考え、判断をするでしょうが、若かった頃に戻るとなると、きっとこれまでと同じ選択をすると思います。これまでに乗り越えてきたこと、学んできたことなくての今を考えることはできません。したことよりしなかったことを悔やんでしまうこと

が多い毎日の中では、やってくる様々なチャンス、機会をプレゼントとしてとらえていくことがとても大切だと思っています。

● 自分を高めるために今やっていることは？

腰の治療をしています。椎間板ヘルニアで2度痛み、現在も少しでも改善するようにとケアにあたっています。腰痛の治療や原因については詳しくなりました。

● ファンに一言お願いします。

それぞれの人生にはいろいろなことが起きるものです。皆さんには完璧にこなせる力があるから、私の助けはいらないでしょう！

オフィスアップデート

学費のお支払いについて

2012年度学費の支払期限は、5月15日・9月17日・12月17日です。第1回目の支払期限は既に過ぎています。お支払いがお済みかどうか再度ご確認の上、まだの方は至急お支払いをお願い致します。また、金額やお振込先が分からない場合は、経理課までご連絡ください。期限前に経理までお支払についてのお知らせをする事なく、支払期限を過ぎてのお支払いには、Late fee 2,000円を合わせてお支払頂く事になることを、ご了解ください。

新バスルート運行決定のお知らせ

お問い合わせの多かった豊洲方面へのスクールバスの運行を、新年度よりいよいよ開始します。東雲(しののめ)、豊洲、築島方面への運行です。お申込みを希望される方は7月13日までにオフィスにてお手続きください。また、バス申請用紙は学校WebサイトCommunity内、Formsページからダウンロード可能です。なお、現行のバスルートにつきましても、一部バスルートの運行時刻が変更されております。新バス時間は、スクールウェブサイトのバス時刻表にてご確認ください。



School support program(SSP)の新制度導入

先日のPTA総会にて参加保護者から以下のような提案を受け、学校側で検討した結果、その提案を新制度として新年度から導入することを決定しました。

提案および承認内容：PTA役員および各コミュニティの責任者は、その任務についている間、SSPへの参加が免除されます。

SSPの新たなオプション

SSP活動に、新たに学校美化活動を2013年1月より追加します。ガーデニングが好きな方、学校をきれいにしたいと思っている方、緑多いKIST敷地内の植物の手入れや校内美化へお手伝い頂けませんか？



毎月曜日8:45am-10:45am (2時間)

学校敷地内の植物の手入れ、雑草取り、学校周辺の掃き掃除など

詳細は後日再度ご案内いたします。

今年度のスポーツ.....



今年度も素晴らしいスポーツシーズンを締めくくることができました。熱心に活動、練習に取り組み、活躍しましたアスリート達、また指導にあたりましたコーチ陣をたたえ、紹介したいと思います。

今年度は近年でもすぐれたコーチングスタッフが揃い、惜しみなく専門的な技術、知識を提供してくれました。それぞれの指導に心より感謝しています：

Mr Lee—U18 男子/女子バレーボール
Ms Haines, Ms Geshel—女子バレーボール/バスケットボール
Mr Steele—U14 男子バスケットボール
Mr Theilen—U14 男子サッカー/U18 男子フットサル
Ms Sentgeorge—U18 女子フットサル
Mr Kenyon—U14 フットサル
Mr Nogami—U18 男子野球

ISTAA (International Schools of Tokyo Athletics Association) リーグでのKISTチームの活躍には大きな拍手を送りたいと思います。次の部門で2012年のチャンピオンに輝きました：

- U18 ISTAA 女子バレーボール
- U18 ISTAA 男子バスケットボール [Brandon (G12) ISTAA MVP]
- U18 女子バスケットボール – 横浜での招待試合
- U14 ISTAA 女子バスケットボール
- U18 ISTAA 男子フットサル
- U14 ISTAA 男子フットサル

また、エレメンタリースクールも年間を通して様々なイベントに参加し、次のような結果をおさめました：

- ASIJ Elementary Soccer Jamboree 優秀賞
- 2回にわたって開催されましたBST Elementary Swim Galaでの素晴らしい個人記録の数々
- BST Mini-Basketball Tournament 2位
- 1st Annual KIST Soccer Jamboreeへの参加
- Mini-Basketball Nishimachi International School との親善試合の開催

Cometsにとって素晴らしい1年でした。新年度を楽しみに、また励んでいきましょう。

Jay Leroy
 Athletics Director / Elementary School PE担当



U18 girls volleyball



Brandon (G12)
 ISTAA MVP U18
 boys basketball



U14 boys futsal (with the BST team)



U18 boys futsal



U14 girls volleyball



U18 girls futsal



Elementary swimmers

カレッジガイダンスニュース

2012年度クラス卒業おめでとう!

2012年度クラスの卒業式が6月8日(金)に森下文化センターで行われました。12年生の保護者、家族、小牧理事長副理事長夫妻、学校理事、校長副校長、DP教員、学校スタッフのほかに、11年生も式に参加し、「先輩」たちが新しい世界に出発する瞬間を共有しました。来年の自分たちの姿を思い描くこともできたのではないかと思います。

2012年度卒業生大学合格実績

今年もまた大学合格実績において成功を収めることができ、うれしく思います。下のリストは、本年度卒業生の2012年6月14日現在の合格大学リストです。まだ出願結果が来るのを待っている生徒や、KIST卒業後に出願する生徒もいますので、これは最終リストではありません。Mr Cowe が卒業式のスピーチで述べたように、今年初めてKISTの生徒が合格通知を手にした大学もあります。たとえば、韓国のソウル国立大学、アメリカニューヨークの芸術大学、エジプトのカイロのアメリカン大学、京都の立命館大学、上智大学理工学部グリーンサイエンス学科などです。今年は、例年とちがって多くの生徒が日本の大学を志望しました。北アメリカやその他の地域の大学に出願した生徒は数名いましたが、イギリスやヨーロッパの大学にはひとりも出願しませんでした。

USA

ウィラメット大学* | シアトル大学* | パシフィックルーセラン大学*
| サバナナ芸術大学* | スクールオブビジュアルアーツ(NY)
ノーススイスタン大学 | オーティス芸術大学 | シカゴ美術館附属
美術大学 | スノーカレッジ | ユタ州立大学

CANADA

マギール大学* | ブリティッシュコロンビア大学 | トロント大学*
| ウェスタンオンタリオ大学 | カールトン大学* |
サイモンフレイザー大学

JAPAN

上智大学(国際教養学部) | 上智大学(グリーンサイエンス学科)|
国際基督教大学| 早稲田大学(国際教養学科)| 明治学院大学
(国際キャリア学部)| 立命館アジア太平洋大学* | 立命館大学
(国際関係学部)

KOREA

ソウル国立大学

EGPYT

アメリカン大学カイロ校

大学代表者のKISTへの訪問

今年も世界中から30以上の大学がKISTに來校し、9年生から12年生の生徒と保護者のためのプレゼンとミーティングが行われました。この場をお借りして、はるばるヨーロッパ、北米、アジア、太平洋地域、日本各地からお越しいただいた各大学関係の方々に御礼を申し上げます。大学のアドミッションオフィスの方や、教授陣の方が大学プログラムの特徴を説明してくださったり、当校の生徒にミニレクチャーをしてくださるのは、大変光栄でうれしい限りです。また、当校を訪問して下さった方々皆様様に、活気にみちてフレンドリーな当校のキャンパスを訪ねてとても楽しかった、プレゼンに参加した生徒が適切な質問や的確なコメントをするので感心したといただくことは、特筆に値すると思います。つい最近も、イギリスのリーズ大学、アングリラスキン大学とケンブリッジ大学のプレゼンでも、11年に混ざって、9年生と10年生の生徒がたくさん参加してくれました。

Mrs Okudeの大学キャンパス訪問

カレッジガイダンスカウンセラーとして、学外で行われる大学フェアや説明会には積極的に参加してきました。これらのイベントでは、各大学の入試担当者や、名刺交換をし、大学のコース内容や入試についての最新情報を得ることができず。また、大学からのご招待や、プライベートな旅行で近くに行った折は、できるだけ現地の大学に足を運ぶことにしています。2010年10月の香港大学とサバナナ芸術大学香港校訪問以来、



延世大学図書館

シンガポールのシンガポール国立大学、S.P. ジェイン大学、別府市の立命館アジア太平洋大学、京都市の立命館大学と同志社大学を訪問しました。最近では、私の母校であるアメリカのジョージワシントン大学(MBA '84) が韓国ソウルで行った同窓会の大イベントに参加した際、ソウル国立大学と延世大学を訪問する機会がありました。大学のキャンパス訪問は、入試担当者や教授陣と情報を交換できるだけでなく、KISTの生徒が卒業後にその大学に進学したらどのような大学生活を送ることができるかを見たり肌で感じたりする機会を提供してくれます。また、すでにその大学に進学して勉強している生徒を大学キャンパスに訪ねることもキャンパス訪問のもうひとつの目的です。彼らが大学生活をエンジョイしている姿を見るのは本当にうれしいひとときです。



ソウル国立大学国際センター

これからも世界各地でKISTの卒業生に会うのを楽しみにしています。

G11 アドバイザリーカレッジガイダンス

今年度最後のカレッジガイダンスの授業で、11年生は*Life after 2012 My Post-KIST Plan* ブックレットの最後の方にある College List と Summer 2012 Action Plan を記入し、大学志望理由書の第一ドラフト原稿とともに提出しました。これらは、コメントをつけて最終授業日に生徒に返却されます。

夏休みを有効に生かし、将来の大学進学やキャリアの夢を達成するために、大学調べや勉強に励んでもらいたいと思います。

楽しい夏をお過ごしください!

Mrs Keiko Okude
College Guidance Counselor



延世大学校門前の
James (Class of 2010)

卒業生レポート

2011年度卒業生Junichi (JC) Takaselは現在、立命館アジア太平洋大学国際経営学部の一年生です。4月の入学式では新入生代表スピーチをしました。

高校を卒業し大学に進学するのはちょっとほろ苦い気持ちでした。卒業して新しい人生の次のステップを踏み出すことができるのがうれしかったと同時に、もう二度と高校時代には戻れないのだと思うと寂しかったです。明るい側面としては、クラスメートは(全員じゃないかもしれないけれど)みんなやっとな「自由」になって、大学に行くことができるということでした。卒業から数か月たっても友達とは、SkypeやFacebookでやりとりしていますが、いつも高校時代が懐かしいという話になります。といっても、IBプログラムを卒業できたことは本当にうれしいと思っているので、誤解しないでほしい。つまり、高校を卒業して、本当にエキサイトしたけど同時にかなり怖かったということです。高校時代はほとんどKISTという小さい学校でとてもタイトなインターナショナルコミュニティで過ごしました。皆さんも知っているとおり、この小さい学校から大学に移るのは、たとえ東京にあってもチャレンジングなことなんです。

では、僕が誰で、ここで何をしているのかから説明しましょう。まず大分県、別府市からはじめましょう。別府は温泉で有名です。僕は生まれてこの方ずっと大都会に住んできました。これは最大の変化でした。東京の友人にいまどこにいるのかと聞かれて「別府」というと、必ず一瞬沈黙があって、「何?」「え、別府?どこそれ?」と言われます。で、僕がどこにあるか答えると、笑いだし、かわいそうに、東京に戻ってこいよ、というのがあります。でも、僕の答えはノー、絶対に!

別府は、九州にあって、海に面した静かな町で、とても美しいところです! 地元の人々は東京の人よりフレンドリーでわかりやすい。正直言って僕も最初は今はちょっと違った感じがしました。空港に着いた途端、この地方の暮らしには慣れないだろうなと思いました。東京は僕にとって故郷という感じだったので、別府には帰属意識は芽生えないだろうと。ところが、ほどなくこの場所がだんだん好きになってきました。とにかくペースがちがって

いて、何か新しいことを始めることができそうな感じでした。僕自身、新しい街、新しい大学、新しい人々、新しい部屋にいることに信じられないくらい新鮮な気持ちになりました。すべてのことがあまりに違うので、まるでほかの人の人生を生きているような気分でした。別府は東京のようにごみごみしていないし、全然違って、すごく小さいけれどたくさんのことを提供してくれます。今では、もうすっかりコミュニティーの一員であると感じています。僕のことが大分県の地方新聞に載ったので、地元の人には僕が僕だってことがわかってるんです。新聞で紹介されていたことは、あるとき僕が学生証を地元の人に見せたとき、その人が新聞記事を見せてくれて、わかったんですが、その人は、APU(立命館アジア太平洋大学)についての記事を読んで僕の名前をおぼえてくれたんです。

大学が正式に始まる前に学部と大学院の入学式が行われました。僕は、学部新入生の代表として、入学式でスピーチをすることになりました。スピーチをしたことが、僕の考えでは、友達を作るきっかけとなり、僕の大学生活を始めるにあたって自信を与えてくれたと思います。

正直言って、学長、理事、大分県知事、学部長といった錚々たる方々がいならぶ壇上に進み、カメラのフラッシュを浴び、そしてもちろん、観衆が一斉に僕を見ている中で、壇上の演壇まで来て、会場にきている人たちの顔を見たときは、今まで生きてきて一番深い深呼吸をしました。スピーチにベストを尽くそうと。それはもう伝説的なできごとでした。

その後まもなく僕の大学生活が始まりました。それがどんなにエキサイティングでアメイジングかを説明することはできません。最初の2週間はほんとうにいろいろなイベントがあって、寮に帰るたびに、今頃なにかやっているのに、参加できなかったんじゃないかといつも思うくらいでした。でも寮に帰ると今度はそこでもイベントを



世界制覇をめざす

やっていました。大学生活についてコメントを一言といわれたら、まず忙しくて、楽しくて、カリスマとエネルギーが必要だと答えるでしょう。オープンに、とにかく自分から進んで入り込んで行って、自分に与えられたものにベストを尽くすっていうことかな。

一連のイベント、ツアー、ワークショップ、あらゆることについてのイントロダクションが終わった後は、サークルとクラブを選びました。最初はバスケットボールチームでプレイしようと思っていたのですが、僕にとってはすべてが新しいので、何か違うことにトライしてみようと思い、男子ラクロスチームに入部しました。練習はかなりきついです。というのも僕らのチームは九州の大学チーム3位にランキングされていて、チームメートには、九州地方代表チーム入りした選手や、韓国の国際代表選手もいるくらいレベルが高いからです。

他にも、キックボクシング、ダイビングとフェアトレードのサークルに入りました。サークルでは、同じような興味をもった人たちに出会い、友達になれるだけでなく、新しいスキルや経験を学ぶことができます。ぜひ、ソサエティー、クラブ、スポーツチームなど何かのグループに参加することをお勧めします。グループの規模が大きい小さいかは関係なく、きっと何かを得ることができる、しかも無料で! 大学に入ったらぜひサークルやクラブ活動に積極的に参加しよう。

Continued next page

Continued from previous page

最後に、授業について少し触れたいと思います、といってもまだAPUに来て3か月強しかたってないので、カリキュラム全体についてコメントはまだできませんが、ひとつ高校との違いをあげるとすると、最低限の単位や履修科目を満たすことができれば、自分で自由にクラスや時間を選ぶことができることです。僕の意見では、これは素晴らしい反面、危険でもあります。自由はときに裏目に出ることもあるから、気を付けて。責任をもつことと時間管理がキーになるけど、KISTの生徒なら、IBのおかげで、簡単にできると思います。

この長くてたぶん退屈な記事を終わらせるにあたって最後に一言。大学は、何事も遅くはないと気が付くところです。実際、始まったばかり。それまでの人生がひっくりかえったり、自分たちの世界観がちっぽけなものだったことに気づいたり。私たちには学ぶべきことがたくさんあり、達成すべきことがたくさんあるのです。とにかく最高の気分は—これはとくに「飽き飽きして」忙しいKIST最高学年の生徒に送りたいことば—いったん高校を卒業して大学に進学すると、人生ベストの時代は過ぎたわけではないと突然気づきます。ただただ前へ進むのみ、年齢を重ねながら。大学での数年間で、勉強し、生涯の交友関係を築き、世界を救うための道をひらくこともできるかもしれない。僕は大学に入学して初めて、どんなことも可能なのだという信じられないような可能性を感じることができました。本当に、皆さん高校時代を大事にしてください。間違いなく素晴らしいものになります。とにかく、大学で過ごす時間には価値があります。素晴らしいものになること請け合いです。壮大なスケールで。

Junichi Charles Takase
Ritsumeikan Asia Pacific University
KIST Alumnus, "Class of 2011"

彼の入学式スピーチの様子は大学ホームページで見ることができます。
<http://www.apu.ac.jp/home/news/index.php?page=article&storyid=2400>

バランスを保って.....

高校生活最後の年に、バレーボール、バスケットボール、クロスカントリーやサッカー等のスポーツをする事が出来ました。出来る限りスポーツをするようにしていましたが、今年は学業とスポーツのバランスを取るのがとても難しかったです。



Ryosuke

先生やKISTのスタッフは学業に集中するようにアドバイスを下さり、一度は全くスポーツをしない事も考えました。しかし、スポーツが大好きで、自分の得意分野でもあり、自身を等身大で表現できる場所でもありません。振り返ってみてもスポーツクラブに参加した事に後悔はありません。実際の所、DPで成功できたのはスポーツをする事によってストレスを発散する事が出来たからだと思います。

Mr Lee、Mr LeroyとMr Theilenは楽しく厳しい練習で今年一年僕をリードしていただきました。この3人の先生方はいつもチームスピリットを持ち、競技を激しいものにしてくれました。Mr Leeがバレーボールをコーチしてくれた事にとっても感謝しています。練習ではいつも厳しく真面目でした。時にチームと先生の取り組み方の真剣さに温度差があったとき、不機嫌な顔をされていた事もありましたが、それでも僕たちをコーチするのを諦めずにいてくれました。僕たちの成長と、いかにMr Leeが良くコーチしてくれたのかを証明するチャンスでしたので、ISTAATーナメントで負けた時はとても残念でした。

バスケットボールの経験は一年間しかありませんでしたが、今年はU18チームに入る事を決めました。ルールや専門用語を知らない事で何度も苦労しました。Mr Leroyはいつも少しずつバスケットボールについて教えてくれました。それだけではなく、Mr Leroyは僕をゲームで起用し続けてくださったおかげで、経験から学ぶ事も出来ました。先生の指導のおかげで自信を持って試合に臨む事が出来、シーズンの終わりにISTAATーナメントで優勝する事が出来ました。

Mr Theilenがサッカーのコーチをしていただいた事にとっても感謝しています。正直な所、大事な試験がたくさん控えている事もありチームに加わる事は考えていませんでしたが、チームに入るという正しい決断をした事を嬉しく思っています。試験スケジュールの関係上何回も練習を休まなければなりませんでした。Mr Theilenは、その短い期間で試合に勝つために大事な事をたくさん教えてくれました。残念ながら今年は多くの試合がキャンセルとなりましたが、シーズンを通じて一度も負けませんでした。Mr Theilenは他のお仕事の都合でISTAATーナメントのためにはコーチをしていただけではありませんでしたが、シーズンを通してのチームとして成長し、トーナメントで優勝する事が出来た事を誇りに思います。

素晴らしい卒業の年となりました！

Ryosuke (G12)



バスケットボールチームとRyosuke

..... スクールコンサート

年に1度のスクールコンサート、“KIST on Stage”が6月2(土)、タワーホール船堀にて行われ、今年も音楽、演劇など様々な方面で当校の生徒のタレントが披露されました。

K1-G1による午前中のローワースクールコンサート、そして午後行われましたG2-G5によるエレメンタリーコンサートは、クラスごとの発表を中心に、歌や楽器の演奏、ダンスなどを取り入れたプログラムでした。G6-G12による夕方のセカンダリーコンサートは、オーディションで選ばれた子ども達によるステージを主に歌、ダンス、演劇、バンドや楽器演奏などが展開されました。

コンサートへ向けての数週間は、それぞれが本番への準備や練習におわれ、大変なこともありましたが、当日は皆がひとつになり、素晴らしいステージを実現することができました。笑みや笑いもこぼれ、観客の皆様にも楽しんでいただくことができました。

